

## 第四十回 帝國議會 衆議院

## 朝鮮事業公債法中改正法律案外一件（樺太事業）委員會議錄（速記）第二回

大正七年二月七日午前十時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

政尾

藤吉君

井戸

文四郎君

松浦

與三郎君

出席

政府

委員左ノ如シ

朝鮮總督府

政務總監

山縣伊三郎君

朝鮮總督府事務官

河内山樂二君

朝鮮總督府事務官

大塚常三郎君

朝鮮總督府事務官

宇八君

川崎

龜造君

牧山

耕藏君

奥田

龜造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法案

○委員長（法學博士政尾藤吉君） ヲレデハ是ヨリ開會致シマス

○川崎克君 此朝鮮鐵道ノ工事施行ニ付テハ、前年來モ大分問題トナリ、世間ノ批難ヲ受ケタ問題モアル、就中世ニ團子取ト稱スル請負人間ニ結托ヲシテ、サウシテ工事ノ請負ヲ爲シタル批難問題モアッタノアリマス、一體朝鮮ノ鐵道事業ニ付テハ、内地ト違ツテ幾ラカサウ云フヤウナ忌ミシキ風説ヲ聞クト同時ニ、内地ニ居ル者が此鐵道事業ニ付テハ、ドウ云フヤウナ事が其間ニ在ルノカト云フ疑問ヲ抱イテ居ルノテアリマスガ、今度

是丈ノ大事業ヲ遂行セラレルニ付テハ、前年來ノ批難ニ鑑ミテ當局者ハドウ云フ方針デサウ云フ疑問ヲ除カレル御考デアルカ、ソレハ指名入札ニ依テ居ツタ弊害カラ來タ事が一ツアラウト思フ、將來ハ指名入札ニ依ラズニ競争入札ニ依ルト云フ方針デアルカ、夫等ニ付テ詳細ノ説明ヲ願ヒタイ

○政府委員（大塚常三郎君） 従來朝鮮ニ居リマスル工事請負人ノ數ガ、内地ノヤウニ澤山モアリマセヌ、又其質ニ於テモ惡イ者ガアッタカノヤウニ存ジマス、是迄モ請負工事ニ對シマシテハ、成ルベク質ノ善イ請負人ヲシテ工事ヲ請負ハセ、完全ナル工事ヲヤリタイガ爲ニ、指名入札ノ方法ニ依リマシタノテ御坐イマスルガ、不幸ニシテ二三談合事件ナルモノが起リマシテ、甚ダ政府ニ於テモ迷惑ヲ致シテ居ル次第アリマス、將來ニ於キマシテモ出來ルダケ請負者ノ質ノ善イ者ヲシテヤラセル必要ガアルダラウト考ヘテ居リマス、今之ヲ無制限ニ競争入札ニ致シマスルト、事業ノ完成ノ確信モ無クシテ工事ヲ請負ヒ、サウシテ色ニ借金ナドラシテ、其處等中借倒シテ遂ニ逃げテ行クト云フヤウナ爲ニ、工事ノ遂行が出來ズ、却テ不良ナル結果ヲ生ズルヤウナ虞ガアルダラウト考ヘテ居リマスノデ、若シ今後請負者等ノ状態が變リマスレバ免モ角、當分ノ間ハ指名入札ノ方法ニ依ラナケレバナラヌノアルマイカト思ヒマス、但シ是ハ御承知ノ通り政府ノ直接ノ契約デハナイノデアリマス、昨年鐵道ノ委託契約ヲ致シマシテ、建設改良ノ工事ハ満鐵會社ニ委託シテラセルコトニナリマシタノデ、満鐵會社が請負者ト契約ヲスルコトニナルデアラウト思ヒマ

○鵜澤宇八君 一體私共ハ朝鮮ノ事業ニハ極メテ疎イカラ、隨テ質問スルノニモ疑點

ト思フ事モ或ハドウデアラウカト云フ考カラ、漫リニ質問スルコトハ避ケヤウト思ツテ居ツタ

ノデアリマスガ、唯今政府委員ノ答辯ニ依リマシテ、私が此際ニ於テ問ハント欲スル事が

二ツバカリアリマス、其一ハ此鐵道ヲ満鐵會社ニ請負ハセルト云フ、其理由ハ想フニ此

朝鮮鐵道ト満鐵が將來合併スルト云フコトデアリマスルカラ、夫等ノ關係上満鐵ヲシテ

サセル方ガ、將來ノ便宜ノ爲ニ必要アルト云フヤウナコトデアルカモレマセヌケレドモ、今

日單純ニ朝鮮鐵道が是等ノ計畫ヲシマスルノニ、今ヨリ特ニ此満鐵會社ニ請負ハセルト

云フ理窟ガ、毫モ私共ニ發見サレナインデアリマスルケレドモ、其理由ヲ一ツ承リタ伊

時ニ、私が考ヘマスル所ニ依ルト、中々朝鮮鐵道等ニ付マシテハ、從來色ニナ疑惑ノ焦點

トナツテ居リマシタ問題が多タアリマス、其場合政府が朝鮮鐵道ガ特ニ指名及其工事ヲ

ス、併シ是ハ想像ニアリマスガ、満鐵會社トシマシテモ、無制限ニ競争入札デヤルト云フ方針ハ當分執レマイト考ヘテ居リマス

○川崎克君 唯今ノ御説明ニ依ルト、無制限ニ自由競争ニスルト工事進行ノ上ニ保

證ガ付カヌカラ、矢張一定ノ資格アル者ヲシテ指名入札ノ方針ヲ執ルト云フ御答辯ノヤ

ウニ承リマシタガ、ソレハ確ニ以前餘り競争入札ニ附シテ弊害トシテ、工事進行ノ上ニ支

障ノ起ツタ歴史ガアルカラ、朝鮮鐵道ハ其關係上サウ云フ方針ヲ御執リニナルコトハ是ハ

已ムヲ得ヌ事ト思ヒマス、併シ私共ノ承知スル所ニテハ談合事件ト伴ニテ、監督ノ方針が

一定シナイ、或場所ニ於テハ非常ニ嚴格ニヤルカト思ヘ、或場所ニ於テハ嚴格デナイン

サウ云フヤウナ關係ガ請負人ニ對シテ非常ニ重大ナ關係ヲ生ジテ居ルト思フ、其非常ニ

嚴格ナ監督ヲセラル、所ハ、石一敷、木一本テモ監督者ニ聞イテ採ラケレハドンヽハ

ネラレテ、ソレガ爲ニ豫定ノ見積デハ出來ヌト云フヤウナコトヨリ、非常ナ損害ヲ受ケテ居

ル者ガアルカト思ヘバ、他面ニ於テハサウテナイン、其實例ヲ舉ケヨト云ヘハ幾多ノ實例ガア

リマス、私が舉ケズトモ當局ハ御承知デアラウト思フ、ドウシテモ此監督ノ統一ト云フコト

ハ、是丈ノ大工事ヲヤラレル上ニ於テ、非常ニ必要ナ事テハアルマイカト思フ、満鐵會社

ヲシテヤラセル御方針ノヤウデアリマスガ、満鐵會社ノ上ニ立ツテ政府ハ此工事監督ノ上

ニ、一定ノ方針ヲ御樹ニナツテ、何レノ線ト云ハズ總テ一定ノ方針ニ依テ監督ヲ爲サラケ

レバ、從來ノヤウナ弊害が絶ニマイト思フ、是ニ付テ何カ御考ニナツテ居リマスカ、御考ニ

ナツテ居レバドウ云フ方針ヲ御執リニナルカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員（大塚常三郎君） 従來唯今御述ニナリマシタ如ク、監督ノ實際ノ効ガ不

統一デアッタ云フコトハ、或場合ニハ絕對ニ無イトハ私モ申上ゲラレマセヌガ、從來トテ

モ政府トシテハ監督ナリ工事ノ監視等ニ付テハ、成ルベク同一步調テヤツテ來タ積リデア

リマス、將來ニ於キマシテ満鐵會社ノ工事遂行ニ付マシテハ、嚴重ナル監督ノ規程ヲ唯

今擴ヘテ居ルノデアリマス、マダ成案シテ居リマセヌガ、今年度ヨリ工事ヲ始メル迄ニハ御

趣意ノ如ク十分ナル監督規程ヲ擧ヘテ、其點ニ付テハ遺算ナキヲ期シタイト考ヘテ居

リマス

○鵜澤宇八君 一體私共ハ朝鮮ノ事業ニハ極メテ疎イカラ、隨テ質問スルノニモ疑點

ト思フ事モ或ハドウデアラウカト云フ考カラ、漫リニ質問スルコトハ避ケヤウト思ツテ居ツタ

ノデアリマスガ、唯今政府委員ノ答辯ニ依リマシテ、私が此際ニ於テ問ハント欲スル事が

二ツバカリアリマス、其一ハ此鐵道ヲ満鐵會社ニ請負ハセルト云フ、其理由ハ想フニ此

朝鮮鐵道ト満鐵が將來合併スルト云フコトデアリマスルカラ、夫等ノ關係上満鐵ヲシテ

サセル方ガ、將來ノ便宜ノ爲ニ必要アルト云フヤウナコトデアルカモレマセヌケレドモ、今

日單純ニ朝鮮鐵道が是等ノ計畫ヲシマスルノニ、今ヨリ特ニ此満鐵會社ニ請負ハセルト

云フ理窟ガ、毫モ私共ニ發見サレナインデアリマスルケレドモ、其理由ヲ一ツ承リタ伊

時ニ、私が考ヘマスル所ニ依ルト、中々朝鮮鐵道等ニ付マシテハ、從來色ニナ疑惑ノ焦點

トナツテ居リマシタ問題が多タアリマス、其場合政府が朝鮮鐵道ガ特ニ指名及其工事ヲ

致シマスル上ニ於テ、世間ノ疑點ヲ避ケントスル、即チ満鐵ノ袖ニ隠レテ其實ハ即チ朝鮮鐵道が請負ハセ仕事ハ專ラ扱フモノニアリハセスカト私ハ懸念スルノデアリマス、夫等ノ懸念ガナク全ク満鐵ガスルモノデ、唯ダ朝鮮鐵道ハ満鐵ノ監督ヲスルノミニ止マルノデ、實際サウ云フコトアルカ否ヤヲ承リタイ

○政府委員(大塚常三郎君) 言葉が少々足リマセナンダノデ、或ハ誤解ヲ來サレタノ改良モ悉ク舉ゲテ満鐵會社ニ委託シタノデ御坐イマス、此鐵道ノ工事ダケワ満鐵ニ委託スル次第デハ御ハ滿鐵ガ之ヲ行フ、斯ウ云フコトニナリマシタノデ御坐イマス、其委託經營ヲシタ本旨ハ、不正工事ト云フコトノ責任ヲ遁レルガ爲ニ満鐵ヲシテナサシムルト云フ意味デハアリマセス、満鮮ノ交通機關統一ト申シマスルコトカラ、朝鮮國有鐵道全部ヲ舉ゲテ經營ヲ委託シタ次第テ御坐イマス

○川崎克君 此説明書ダケデハ解リマセヌノデ、一寸伺ッテ見タイト思ヒマスノハ、咸鏡線ニアリマスか、此線ノ哩三當飮メタ建設費ノ全額及一哩幾ラニ付テ居リマスカヲ伺ヒタイ

○政府委員(河内山樂三君) 昨日誰方カノ御質問ニ對シテ他ノ政府委員カラ御答ヲ申シマシタコトガ御坐イマス、十一万幾ラト申シマシタノハ過去ノ大正五年マデノ總テノ結果デ御坐イマス、本年出シマシタ豫算ハ、咸鏡線ノ建設費が四千五百六十萬圓ト云フコトニナシテ居リマシテソレヲ以チマシテ二百三哩著ケルコトニナシテ居リマス、是ハ鐵材ノ騰貴等が皆ナ見込ンデ御坐イマス

○川崎克君 三百三哩トハ……

○政府委員(河内山樂三君) コリヤ達ヒマシタ

○川崎克君 一百八十三哩……

○政府委員(河内山樂三君) サウデス、一百八十三哩デス、之ニソレダケ掛ルコトニナシテ居リマス

○鵜澤宇八君 昨日私ハ終リニ缺席シマシタカラ、ドウ云フ質問ガアリマシタカ分リマセヌデ、重複ニナリマシタラ止メマスルガ、此現レマシタル所ノ鐵道ノ御計畫以外ニ、更ニ朝鮮全道ニ於キマスル、即チ鐵道網トモ稱シマスルモノ及其鐵道網ニ依リマシテ、完ク架設ヲスルト云フ御計畫ガ今日分ニテ居リマスレバ、ソレヲ一應承リタイト思ヒマスルガ、如何御坐イマス

○政府委員(河内山樂三君) 調査ヲ致シマシテ御坐イマスガ、今ノ所デハ其處ニ出シテ御坐イマス才ヲ架ケルト云フノデ、確定シタモノハソレダケヨリ御坐イマセヌ、調査ハ此線ヲ著ケタラト云フコトヲ調ベタコトハ御坐イマス

○鵜澤宇八君 調査ヲシマスルノニハ、豫定ノ計畫ト云フモノガアリマシテ、其計畫ニテ御坐イマス才ヲ架ケルト云フノコトノ御計畫ハ、當此線ヲ著ケタラト云フコトヲ調ベタコトハ御坐イマスガ、此現レマシタル所ノ鐵道ノ御計畫以外ニ、更ニ鐵橋及「レール」ニ要スル鐵材ハ澤山ノモノヲ要スルダラウト考ヘマス、所ガ我國ニ於テ現ニ鐵ノ需要ニ對シテ不足ヲ感ズル場合ニ於テ、果シテ斯ノ如キ鐵橋及「レール」ヲ此期間内ニ得ラル、確信ヲ有シテ居ラル、ノデアリマスカ

○政府委員(河内山樂三君) 鐵材ノ缺乏ニハ困難ヲシテ居リマスガ、此鐵道ハ軍事上及朝鮮北部ノ開發上ヨリ急要シマスカラ、政府ハ最善ノ目的ヲ以テ鐵材ノ供給ヲ得タイト考ヘテ居リマス

○鵜澤宇八君 凡テ計畫ヲスルニハ相當ノ豫定ト確信ヲ持タナケレバナラヌコトハ論ヲ俟タヌノデスガ、今日鐵ヲ要スルモノハ外ニ多々アリマス、故ニ政府ハ前ニ之ヲ提案セラル前ニ鐵ヲ供給スル當事者ト折衝ヲ重ネラレタコト、考ヘマスガ、果シテ此鐵材ヲ供給スルト云フ御確答ヲ得ラタノデアリマスカ、將又之カラ後ニ折衝セラル、ノデアリマスカラウト思ヒマスカラ、免ニ角決定致シマセヌデモ、架設ヲセントスル御見込ガ分ツテ居リマスレバレヲ一つ承リタイ、其調査ノ調査済アルト未了デアルトヨコトハ御計畫ガア

ダモノハ其場處ヲ聞キタイ、ソレカラ其他ニ將來此處ヲ調査スルト云フ御計畫ハ定メテアラウト思フカラ、ソレヲ一應承シテ置キタイト思フ

○政府委員(大塚常三郎君) 此鐵道ニ付マシテハ、幹線トモナルベキモノハ大體其處ニ差上ケタ圖面ニ書イテアルモノ丈デ御坐イマス、之ニ接續シマスル支線ノ如キモノハ、大體ニ於テハ輕便鐵道ニ依リマシテ民營デ許可スル方針ヲ取シテ居リマス、其計畫若クハ出願シテ居リマスル線ハ約五六線モアルノデアリマス、國トシテヤリマスル分ハソコニシテゲタ分ガ今日ノ所デハ全部ト申シテ宜シイノデス

○鵜澤宇八君 サウシマスルト唯今政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、此幹線以外ノ支線ハ全部國有ニアラズシテ、私線ヲ以テ許可スルト云フ方針デアルト云フコトニ解釋シテ宜シウ御坐イマスカ

○政府委員(大塚常三郎君) 大體民營デヤラス方針デアルガ、悉クトハ申上ダ兼ネマス、例ヘバ平壤カラ元山ヲ聯絡スル如キモノハ民營ニ之ヲ委ヌルカドウカ、マダ其點ハ決定シマセヌ、全部民營デヤラセルト云フコトハ申上ダラレナシガ、大體サウ云フ方針ヲ持ツテ居リマス

○川崎克君 ソウ一度伺ヒマスルガ、今ノ御説明ニ依ルト、一哩十ハ万圓ト云フ計算ニナリマスガ、是ハ高イヤウデアリマス、ドウ云フ譯デスウ掛ルノデスカ

○政府委員(河内山樂三君) 鐵材ハ戰前カラ見ルト相場ガ十二割カラ高クナシテ居リマス、併シ大正十四年頃ニナレバ戰前ノ價額ニ回復スルト思ヒマシテ計算ヲ致シマタ、現在ハ逆モ從前ノ十一万幾ラト云フ廉イ金ディケマセヌ、又十一万幾ラノ中ニハ速成デ指ヘタヤウナ所モ入テ居リマス、ソレカラ處ニ依テ從前モ京元線ハ隧道王鐵橋モ澤山アリマスノデ、十一万幾ラト云フ平均デ出來テ居リマセヌ、咸鏡北道ノ如キモ地勢ニ依テ鐵橋ノ長イモノ隧道ノ大キナモノモアリマスガ、大體ハ鐵材及枕木ノ騰貴が影響シテ居リマス

○鵜澤宇八君 川崎君ノ質問致シマシタ經費ノ問題ニ付テハ、高イノデアリマスガ事情已ム得ナイト致シマス、畢竟咸鏡線ノ圖面ヲ見テモ河川ノ夥シイ爲ニ、此河川ニ對スル鐵橋及「レール」ニ要スル鐵材ハ澤山ノモノヲ要スルダラウト考ヘマス、所ガ我國ニ於テ現ニ鐵ノ需要ニ對シテ不足ヲ感ズル場合ニ於テ、果シテ斯ノ如キ鐵橋及「レール」ヲ此期間内ニ得ラル、確信ヲ有シテ居ラル、ノデアリマスカ

○政府委員(河内山樂三君) 鐵材ノ缺乏ニハ困難ヲシテ居リマスガ、此鐵道ハ軍事

リタイ、今日軍事上其他鐵ノ必要ナコトヘ多々アリマスカラ、其鹽梅等ノコトモ吾ミ大ニ  
知ルヲ要スルコトデアリマスノデ、此場合一應承<sup>シテ</sup>置キマス

○政府委員(河内山樂三君) 噴數<sup>シテ</sup>出<sup>タ</sup>モノハアリマセヌガ、橋梁ノ長サガ二万七千  
九百四十五呎、是が新タニ出來<sup>タ</sup>マス方ノ線路テス、軌道ノ方ハ二百八十二哩一步デア  
リマス

○川崎克君 咸鏡線ハ大正十四年ヲ完成スルヤウデアリマスガ、之ニ區切リヲ設ケテ、  
例ヘバ清津カラ鏡城ノ間、或ハ咸興カラ元山、永興ノ間トカフ限<sup>シ</sup>テ、何年間ニ完成スル  
ト云フコトニナ<sup>シテ</sup>居ルト思ヒマスガ、ソレヲ今一時ニ全體ヲ指名ナリ或ハ入札ニ依テ大  
正十四年迄ニ完成セラル、御考デアリマスカ、工事が……或ハ一ツ<sup>シテ</sup>其時々入札ヲ  
サレルノデアルカ、大變鐵材ガ騰ツテ居ルカラ云タク云フ御答辯ヲ得ルノデスガ、ソレヲ了  
解スルニ苦シムノデアリマス

○政府委員(河内山樂三君) ソレハ御尋ノ通り區切リマシテ、例ヘバ一年トカ云フヤ  
ウナ期間デヤリマス、全部ヲ大正十四年マデ通ジテヤルト云フコトバアリマセヌ、從來ノ例  
ニ依リマシテモサウ云フ事ハアリマセヌ、大抵最長一箇年位ノモノデアリマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 川崎君一寸代<sup>シテ</sup>下サイ

(委員長法學博士政尾藤吉君委員長席ヲ退キ川崎克君著席)

○法學博士政尾藤吉君 此法律改正案ニ依リマスルト、九千万圓ノ事業公債ヲ募  
集スルト云フノ、一億六千二百萬圓ト云フ金額ニ改メル丈デ、法文ニ現レテ居ルノハ

ソレ丈ノ改正法案デアリマス、夫カラ此朝鮮鐵道建設及改良費追加豫算要求説明書  
ト云フヤウナ参考書ヲ初メニハ吾ミ委員ハ貴<sup>シ</sup>テ居ナカッタ、是が初メカラ出<sup>タ</sup>居<sup>タ</sup>ラ、ヨ  
リ以上ニ私共ハ政府委員ノ説明が分<sup>シ</sup>タデアラウト思フ、途中テ出サレル、出<sup>タ</sup>來ナイヨ  
リハマンシアルケレドモ、初メカラ出<sup>タ</sup>居レバ尙能ク分ルノデアッタ、ソニヨ豫算ニ關聯シテ  
此事業公債法ヲ改正セネバナラスト云フ必要が起<sup>シ</sup>テ來ルノデアラウト察スルノデアリマス  
ガ、サウシマスト一億六千二百萬圓ト云フモノハ建設ト改良ト車輛ノ補充ト云フコト、  
ソレ丈ニ全部使フ爲デスカ或ハソレ以上ノ事ニ使フノデスカ

○政府委員(河内山樂三君) 少々遲レテ出<sup>タ</sup>シマシテ甚<sup>シ</sup>恐縮ニ存ジマス、七千百万  
圓ト申シマス今度追加致シマシタモノハ此鐵道丈ニアリマス、一億千万圓ト申スノハ既  
定ノモノガ入<sup>タ</sup>テ居リマス、建設ノ中ニハ道路ノ修築費、築港ト平壤鐵業所ト云フノカ  
アリマシテ、無煙炭ノ採掘ヲ致シテ居リマス、ソレヘ鐵道ヲ擴張スルワレカラ、車輛此四  
口ガ入<sup>タ</sup>テ居リマス

○法學博士政尾藤吉君 其七千百万圓ノ中ノドレ丈ガ咸鏡線ニ對シテ入用ナノデス  
カ、又ドレ丈ガ鎮海線ニ對シテ必要デアル、ドレ丈ガ平壤線ニ對シテ必要デアル、ドレ丈  
ガ車輛ノ増備ニ對シテ必要デアル、ドレ丈ガ改良工事ニ對シテ必要デアルカ、凡ノ事ヲ  
説明シテ貴ヒタイ、大體デ宜シイノデス

○政府委員(河内山樂三君) 今年御要求致シマシタ追加ノ中ニ、咸鏡線建設ニ要  
シマスルモノガ、四千五百五十一万六千五百九十一圓ト云フコトニナ<sup>シテ</sup>居リマス、ソレ  
カラ鎮海線即チ昌原カラ鎮海灣ニ至リマス線ガ、二百四十一万六千八百七十六圓、  
ソレカラ平壤鐵業所ト云フノ方ガ八十三万八千二百五十二圓、車輛ノ經費ガ一千九十九

万二千六百圓、コレが建設ノ方デ此外總經費ヲ合セテ建設ノ方ノ合計六千二十一  
万五千六百圓、改良費ノ方ガ總テ一千百十一万六千五百圓、斯<sup>シ</sup>云フ事ニナ<sup>シテ</sup>  
居リマス

(川崎克君委員長席ヲ退キ法學博士政尾藤吉君委員長席ニ著シ)

○川崎克君 私ハ昨日モ其事ヲ申シタノデアリマス、委員長カラモ今御話ノアツタヤウ  
ニ、一體事業公債ニ伴フ所ノ法律案ヲ議スニ當<sup>シ</sup>テ、非常ニ輕ンシテ豫算ノ方ニ皆ナ  
行<sup>シ</sup>テ仕舞<sup>シ</sup>テ、豫算ノ方デ大體ノ仕事ハヤツテ居ルカラ、法律案ニ付テハドウデモ宜ト  
云フヤウナ御考ヲ持<sup>シ</sup>テ居ラレル、政府委員モ動モスレバ豫算ノ方ヲ先ニシテ事業公債  
ノ法律ヲ後ニスルト云フヤウナ間違<sup>シ</sup>タ事モ今マデアッタ、サウ云フ弊害ハトウシテモ除カナ  
ケレバナラヌノデアリマス、ソレト同時ニ政府委員ハ一體此事ニ付テノ事業公債案ヲ出  
シテ、吾ミノ協賛ヲ求ムルニ當<sup>シ</sup>テ、參考材料モ出サヌ、私共ハ強ヒテ之ヲ八釜敷<sup>シ</sup>言  
ヒタクナイケレドモ、餘り遣方ガ不親切<sup>シ</sup>極メテ、何ト云フカ朝鮮式ノ祕密主義ト云フ  
カ、サウ云フ事ヲ御遺ニナルノ甚<sup>シ</sup>宜シクナイト思フ、ソレテ今一應政務總監ノ御出ヲ  
願フヤウニ注文致シマス、委員長カラモ御通知ヲ願ヒタ——此場合一寸御休憩ヲ  
ナサツタラ如何<sup>シ</sup>スカ

○委員長(法學博士政尾藤吉君) ソレデハ一寸休憩致シマス

午前十一時四十三分休憩

午前十一時四十八分開議

○委員長(法學博士政尾藤吉君) ソレデハ委員會ヲ繼續致シマス

○川崎克君 態<sup>シ</sup>政務總監ノ御出ヲ願<sup>シ</sup>タノハ外<sup>シ</sup>ハナイ、此事業公債案ハ金額ニ  
於テモ七千万圓以上ノ重大ナ公債ヲ起スベキ事業デアル、十分慎重審議ヲシナケレバ  
ナラヌモノデアル、尤モ此公債ニ伴フ所ノ豫算及事業ノ大體ハ豫算會ニ於テ討議セラレ  
テ居リマスカラ、或ハ此委員會ヲ輕ンゼラレタノカモ知レマセヌケレドモ、一體此法律ノ制  
定が出來ナケレハ豫算ハ組メナイノガ當然ノ順序デアル、先<sup>シ</sup>此事業公債案ノ委員會  
ニ於テ可決ヲ見テ、初メテ豫算ニ著手セラル、ト云フノガ順序デアリマス、然ルニ昨日來  
此委員會ニ對スル政府委員ノ態度ト云フモノハ、私共強ヒテ批難スルノデハナイノデ、唯  
ダ此事業公債案ニ對シテ極メテ簡單ナル御説明ガアツタノミデ、此金ヲ何ニ使フカト云フ  
コトニ付テノ内容ニ付テハ、殆ド參考資料トシテ出<sup>タ</sup>レタモノハ無イ、ソレガ爲ニ昨日私  
ガ要求致シテ建設改良ニ關スル所ノ内譯ヲ承知致シタイト云フコトヲ要求ヲ致シマシ  
テ、其要求シタ爲ニ漸<sup>シ</sup>此案が出来タノデアリマスケレドモ、此案ノ出<sup>タ</sup>ル時分ニハ  
他ノ権太ノ方ノ問題ニ移<sup>シ</sup>タル<sup>シ</sup>、後戻リ<sup>シ</sup>テ此案ヲ議スルコトが出來ナクテ散會ラシ  
ガ書イテ無イ、唯今政尾君カラ質問ガアツテ始メテ政府委員ガ答ヘラレタト云フ狀態デ  
アリマス、一體斯<sup>シ</sup>云フ不親切ナル御處置ヲナサル、ト云フコトハ、政府ノ爲ニ惜ムノデア  
リマス、斯<sup>シ</sup>云フ重大ノ事ハ政務總監御自身が御出<sup>タ</sup>シナ<sup>シ</sup>、此案ノ内容ノ大體ヲ御説  
明ニナ<sup>シ</sup>テ、此案ノ協賛ヲ求メルヤウニナ<sup>シ</sup>タラ宜カラウト思フ、吾ミハ事實ノ内容ニ付テハ固  
ヨリ同意ヲ致シテ居ルノデアリマス、ケレドモ、斯様ナ不親切ニシテ所謂祕密主義ト稱ス

ベキカ、サウ云フ主義ヲ執ルト餘り面白クナイ感情ヲ以テ此案ヲ議セネバナラヌカラ、ドウカ此點ニ付テハ政務總監カラ此委員會ニ對シテ然ルベク御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員（山縣伊二郎君） 唯今私ハ始メテ此面白カラヌコトデアツタ云フコトヲ承ルノニアリマシテ、實ハ御承知ノ通リ他ニ委員會ガアリマシテ、其方ヘ今朝モ出席シタ次第ニアリマス、決シテ此委員會ヲ蔑視シタナド、云フコトハ無イノアリマスル、將來モ

亦サウ云フ事ヲ爲スベキモノデナイト心得テ居リマス、私共ハ何所マデモ是ハ熱心ニヤル考デアリマスルカラ、何モ之ヲ輕シシタナド、云フコトハ毛頭無イノデアリマスカラ、ドウゾ其邊ハ十分御了解三ナルヤウニ致シタインデアリマス、又此鐵道ノ事ニ付テハ丁度是ガ事

業公債ニナッテ、大藏省ノ主管ニナッテ居リマスガ、過日大藏省ノ方カラ 説明モアッタト  
云フコトモ承ツテ居リマスガ、唯事業公債ダケノ事ト斯ウ私ハ考ヘテ居ツタノアリマスガ、  
基ダ其點ハ不行西ノ事デアリマシテ、固ヨリ比朝鮮ニ於テ鐵道ノ今日大切ナコトハ申ス

マデモナイコトデアリマシテ、之ニ付テ十分説明ヲ爲スガ當然ノ事ト思ヒマス、私共が出テ十分説明ヲシナカッタノハ、ドコ迄モ落度デアツタト私ハ存ジマス、ドウゾ是ヨリ鐵道ニ

付テ御質問が有リマスレバ、夫々御答ラスルコトニ致シマス、是丈ノ事ヲ申上ゲテ置キマス  
○川崎克君 唯今ノ御説明テ了解致シマシタ、先程政府委員カラ 大體説明ガアツタ

○政府委員(山縣伊三郎君)　此事付テハ既ニ政府委員ヨリ説明申上ゲタノデ、又二重ナルカモ知レマセヌガ、此咸鏡線——咸鏡北道、咸鏡南道ヲ通ジテ此線路ガ行ツテ居

ルノデアリマスガ、御承知デモアリマセウガ、清津カラ會寧、元山カラ永興、其間が詰マリ  
繼續シテヤルコトニナツテ居リマス、今一ツハ昌原カラ鎮海マデノ線ヲ、此中ニ載セテ居リマ

ス、此咸鏡線ノ必要ナコトハ申スマテモカク、彼ノ沿海ヲ清津マテ出マシテ、ソレガテ會寧ノ方ヘ出マスノデ、會寧カラハ吉林ヘ、彼レガ接續スルヤウニナリマスカラ、詰マリ支那側ヘ通ジテ行クト云フコトニナルノデアリマス、鎮海ノ方ハ御承知ノ通リ鎮海ハ海軍ノ根據地

デアリマスカラ、之ハ軍事上總アノ點ヨリ必要デアリマス、先づ此一ツ丈ノモノヲ繼續費  
トシテ提出シタ次第アリマス

○鵜澤宇八君 唯今山縣總監殿ノ御説明ハ曩ニ政府委員ノ説明サレタルモノト殆ド同様デ、他ニ何等變ツタコトハアリマセヌガ、私共ノ間ハムト欲スル所ノモノハ、尙ホ此以外ニ所謂政府委員ノ説明シ得ナイ、尙ホソレ以上ノ大ナル御考ガアルコトニアラウト考

ヘテ居ル、ソレハドウデアルカト云フ、將來此會寧ニ達シマスル線路ノ後ニ於テ、政府  
ガ國防上ニ於テ抱イテ居ル所ノ考、即チ起點ニ達スルヤウナ此鐵道ノ完成ハ、何年頃  
乞ニ計畫シテ士群ニタリトカ、又清負者ニ對シテモ色々談合事半等モ御坐イマシタ、期

鮮鐵道アリマスカラ、是等ニ對スル満鐵ガ直接ニ請負フ致シマスコトデアリマスケレドモ、朝鮮トシテ監督スル上ニ於テ、其請負ノ致方等モ夫等條件様ノモノモ授ケルトカ、

先程利カ政府委員ニ問フタル所ノ鐵材ノ如キモノモ、非常ニ叶今不足テ感シテ居リ、  
ス、此場合ニ於テ吾ニカラ考ヘマスルト云フト、到底此豫定ノ鐵材ヲ得ルコトハ困難デ  
アラウト思フガ、特ニ是ハ國防上必要デアルカラ、斯ミノ方法斯ミ交渉ヲ以テ、更ニ購

入スルト云フヤウナ手續ヲ如何ニセラル、カト云フ、即チ現レタル以外ノ内容ヲ承ハリタイ  
トスウ考ヘマス、是等ニ付テノ政務總監ノ考ヘテ居ル所ヲ腹藏ナク誠意ヲ以テ御答アラ  
レルコトヲ希フ譯ニアリマス

大正七年二月十五日印刷

大正七年二月十五日發行

午後零時十一分散會

衆議院事務局

印刷者 印刷局

—

○政府委員(山縣伊三郎君)　此國防上ニ關シタコトハ、私ヨリ御答スルコトハ出來マセヌガ、無論又私ハ國防ノコトニ付テハ存シテ居リマセヌカラ、ソコハ申上ゲルコトが出來上ツタ曉ニハ、吉林方面ニ此鐵道が延ビテ行カネバ彼處が行止リニナリマス、ソレデ一日モ早ク支那側ニモ矢張彼ノ道ヲ開イテ貴フタナラハ、大ニ物産其他ノモノヲ出スニ付テモ運輸上十分ナル便利ヲ得ルコトニナリマスカラ、夫故彼ノ線ヲ早ク拵ヘテ貴フト云フコトヲ朝鮮側デハ非常ニ希望致シテ居リマス、又は満鐵ノ方デモ既ニ長春、吉林間ハ支那ノ委託ヲ受ケテ今度經營スルコトニナッテ居リマスカラ、満鐵ニ於テモ若シ是ガ手ヲ延バシ得ラレルナラバ、チットモ早ク彼處ヲヤリタイト云フ考ハアルダラウト思ヒマス、唯ダ朝鮮ニ關係スル所ハ朝鮮デハ十分勉強シテ、彼處迄ノモノヲ早クヤツテ、ソレカラ先キ支那側ノ方モ一ツ連續スルヤウニシテ貴ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ抱イテ居リマス

○奥田龜造君　今ノ政務總監ノ御答辯ニ依テ、今回提出シテ居ル所ノ通過ヲ希望ナサル所ハ御尤ノ次第御坐イマスガ、又此線ハ軍備上ニ於テモ産業上ニ於テモ、早ク出来ナケレバナラヌ線ト心得マスガ、モウ一ツ政務總監ニ御聽キシタノハ、元山平壤線ハ產業開拓ノ上ニモ軍備上ニ於テモ是亦必要ト思ヒマスガ、此點ニ付テノ御計畫ガナインテ御坐イマセウカ、ドウデゴザイマセウカ

○政府委員(山縣伊三郎君)　將來無論是等ノ點ヲ大ニ御考ヲ願ハネバナラヌコトハ思ウテ居リマスルガ、今日ノ所デハ先づ此經費ノ上カラ行ツテモ、此邊ハマダ十分調べテ居リマセヌ、併シ無論此財政ノ上ニ餘裕が出來タナラバ、マダ外ニモ多々考フベキモノガアルダラウト信シテ居リマス、ソレカラ今一ツ申述ヘテ置キマスガ、此能ク世間ニ三角航路ト唱ヘテ居リマス、敦賀、清津、元山、是ガ矢張今度清津ノ鐵道ノ聯絡ト云フコトニ付テハ、斯ウ云フ考カラ今度ノ豫算ニ於テ計上シテ出シテ居リマスカラ、之ハ是非日本海ノ矢張敦賀ト聯絡シタイト考ヘテ居リマス

○奥田龜藏君　此三角航路ノ關係ハ、以前カラ致シマシテ吾ニハ成ルベク早ク是等ノモノヲ成立タセヒト云フコトヲ希望シテ居リマシタガ、特ニ朝鮮總督府ハ元山ニ數百萬圓ノ資本ヲ投ジテ、元山ノ築港ヲヤツテ居リマスガ、軍事ノ上デモ必要デ御坐イマセウガ平元線が早く出來テ此產物ヲ元山ニ出シ、サウシテ裏日本ニ通シテ、日本ノ敦賀ナリ舞鶴ナリニ行クヤウニシ、隨テ新義州方面ニ此線ヲ利用シ、又平壤鎮南浦對岸ノ山東省方面トノ貿易ヲ盛ナラシメテ行キタイ、今政務總監ノ御話デハマダ此線ノコトニ付テハ御考が無イト仰シャルガ、無イデ宜イセウカドウデセウカ

○政府委員(山縣伊三郎君)　無論斷言ハ出來マセヌガ、其邊ノ必要ハアルモノト信ジテ居リマス

○奥田龜造君　ソレナラハ私ハ希望致シマスガ、ドウカ一ツ早ク御調查ヲ爲サツテ戴キタイト思ヒマス

○川崎克君　質問終了ノ動議ヲ提出シマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君)　ソレデハ御異議が無イモノト致シマス、是デ質問ハ打切りニ致シマス、今日ハ是ア散會致シマス